

演
題

世界が求める憲法9条！ 市民の行動が未来を拓く

講演

関心のある方はどなたも参加OKです

& とき 4月8日(土) 午後2時～4時半

総会 ところ 東大和市立中央公民館ホール ☎042-564-2451

東大和市役所構内

ちひろ
お話しする人 伊藤千尋さん



プロフィール

1949年、山口県生まれ、東大法学部卒。74年、朝日新聞に入社、外報部などを経てサンパウロ支局長（中南米特派員）、バルセロナ支局長（欧州特派員）、ロサンゼルス支局長（米州特派員）を歴任。2014年からフリーの国際ジャーナリスト。78か国を現地取材。NGO「コスタリカ平和の会」共同代表、「九条の会」世話人

著書に『反米大陸』（集英社新書）、『燃える中南米』（岩波新書）、『今こそ問われる市民意識』（女子パウロ会）、『キューバ—超大国を屈服させたラテンの魂』『観光コースでないベトナム』（高文研）、『一人の声が世界を変えた』

参加費 800円（学生100円）

主催 東大和9条の会 <http://higashiyamato9.main.jp>

問合せ先 090・1856・3388(鳥谷)

世界が求める憲法9条—市民の行動が未来を拓く

2017年4月8日 @東大和9条の会 伊藤千尋

1. 沖縄は今—高江、宮古島の現場から
2. 世界が憲法9条を求めている
 - アフリカ沖のカナリア諸島、トルコの「日本国憲法9条の記念碑」
 - 沖縄の記念碑が示す「生命」、広島原爆詩人の墓に立つ「護憲」の碑
 - コスタリカ国会決議—日本とコスタリカの市民にノーベル平和賞を
3. 本当の積極的平和主義
 - トランプと安倍首相に共通する発想
平和学で言う本来の積極的平和（Positive Peace）と
軍事用語の積極的平和主義（Proactive contribution to Peace）の違い
 - 対人地雷禁止から核兵器禁止へ、世界の大きな流れ
4. 平和も人権も憲法を活かすコスタリカ
 - アリアス大統領の平和外交、「兵士の数だけ教師をつくろう」
 - だれもが愛される権利を持つ、小学生も違憲訴訟
憲法に書かれた理想は実現されなければならない、という意志
 - 平和の原点は「自分を平和にする」、経済難民100万人を受け入れ
 - 「憲法が危機に陥った時、闘う義務がある」ロベルト・サモラ
5. どうすれば日本を変えられるのか
 - 「反対」だけでなく対案を出して世論に
自衛隊カンボジア派兵に対してアリアス元大統領の案
「軍服を着た軍人より白衣の医者を、農民を、先生を」
原発反対を叫ぶだけでなく自然エネルギーでやれることを示す
 - 政権を退陣させた世界の市民運動に学ぶ
韓国—歌と発信
南米チリー獄中のタイプライター
 - 昨年の参議院選挙が証明した野党共闘の強さ
知事選で自民党は7連敗、新潟知事選でなぜ野党が勝てたのか
 - 過半数はいらぬ—社会を変える15%の法則
非暴力でベルリンの壁を壊したデモの力、9・11のアメリカから
 - たった一人の闘い—米国のバーバラ・リー議員